

利用成果報告書

- 1 課題番号 R2-003
- 2 報告者 畑裕 東京医科歯科大学病態代謝解析学分野
- 3 利用区分 成果公開有償利用
- 4 利用課題名 転写共役因子TAZ阻害剤候補化合物IBS015181とCSE1Lタンパク質の相互作用解析
- 5 使用装置名 BIACORE分子間相互作用解析装置
- 6 利用期間 令和 2 年 6 月 15 日 ~ 令和 2 年 7 月 31 日
- 7 利用成果・実績の概要 化合物IBS015181をセンサーチップに固定し、CSE1Lリコンビナントタンパク質をアナライトとして流路に流す系を採用して相互作用検出可否検討を行ったが、相互作用の有意な検出は出来なかった。組み合わせを逆にして、CSE1Lリコンビナントタンパク質をセンサーチップ側に、化合物IBS015181をアナライト側にした系も検討したが、結果の改善は見られなかった。
- 8 社会・経済への波及効果 特になし。
- 9 学会等における口頭・ポスター発表 該当なし
- 10 学会誌・雑誌等における論文掲載 該当なし